

**リアルタイム多重スキャンで、巧妙化する標的型攻撃への対応を実現！  
メールセキュリティソリューション新製品  
「マトリックススキャン APEX III」を販売開始**

アイマトリックス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長 小島 美津夫)は、2014年1月15日、機能をさらに高めたメールセキュリティソリューションの新製品「マトリックススキャン APEX III (マトリックススキャン エイペックス スリー)」の販売を開始いたしました。

新製品は、スパム/ウイルスのリアルタイム多重スキャンを提供し、ますます巧妙化する標的型攻撃等のメール攻撃の脅威から企業を保護いたします。

ビジネスのコミュニケーションインフラとして欠かすことのできない電子メールですが、未承諾の広告宣伝や詐欺メールといったスパムメールが全体の7割を占め、コンピューターウイルスの感染経路としても悪用されることが多いのが現状です。そして、2013年のトレンドでは、海外発のスパム以上に、日本国内発のスパムが増加、つまり最新のスパム対策では、日本に特化した対策が求められています。

新製品「マトリックススキャン APEX III」は、現行製品「マトリックススキャン APEX+」の特長である国産ならではの高信頼、高性能な日本特化型スパムデータベースとグローバルで実績の高いスパムデータベースの多重分析を継承しながら、巧妙化する標的型スパムにも柔軟に対応するため、コンテンツフィルターや独自開発のクラウド型スパム検出エンジン「msec™ v2」を搭載し、個々のユーザー環境に合わせたスパム対策を提供、スパム検出率を向上させています。

また、従来はオプション機能であった「Command AV」アンチウイルスを標準搭載したことで、Microsoft® 社や McAfee 社等への導入実績に裏付けされた高速・高信頼・高性能なアンチウイルスと、他のアンチウイルスオプションを組み合わせた業界唯一のリアルタイム多重スキャンに対応し、メールを感染経路とするウイルスの侵入を確実に防ぎます。

さらに、製品ラインナップに仮想アプライアンスが追加され、仮想基盤を所有するユーザー環境では、物理デバイスを追加することなく、マトリックススキャンを容易に導入できるようになりました。

**【価格について】**

「マトリックススキャン APEX III」の標準価格は395,000円から、仮想アプライアンスは107,500円からと低価格を実現、5か年の総費用も業界最低水準とし、コスト面からもユーザーを支援します。

\* Microsoft, Encarta, MSN, および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

\* 文中の会社名及び商品名は各社の登録商標です。

**【アイマトリックス株式会社について】**

URL: <http://www.imatrix.co.jp>

2000年に創立され、主に電子メールシステムのセキュリティに関連するサービス、技術・市場開発を行っている。マトリックススキャンに代表されるメールセキュリティソリューションの開発・販売を主軸とし、アイマトリックス独自開発技術と海外のユニークな技術を融合させた製品を発売、国内大手通信事業者から、企業、大学、ISP と多岐にわたる多くの団体・組織を顧客としている。

**【製品に関するお問い合わせ先】**

アイマトリックス株式会社

カスタマーリレーションズ 営業担当

TEL: 044-272-6771

E-mail: [sales@imatrix.co.jp](mailto:sales@imatrix.co.jp)